

たのしんでいますか スポーツ

世田谷区 体育指導委員だより 第64号

スポーツが、人と地域をつなぐ

世田谷区体育指導委員協議会 会長 中川 義英

政財官界をはじめ相撲界など内外を問わず大きな問題が露呈する社会現象が続きました。また、東日本大地震では、ご家族やお知り合いなど、被害への対応に追われた関係者もいらっしゃるかと推察いたします。被災され亡くなられた方々、被災された方々に対して心から哀悼の意を表します。それとともに一刻も早い元気な日本、元気な東北そして元気な世田谷を取り戻していきたいものです。

スポーツは本来、「人間の権利」として、私たちの「こころ」と「からだ」の健全な発達、維持向上を促し、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成に不可欠のものと思います。また、スポーツの価値は個人的スポーツ活動というレベルから世代・地域を越えた広がりを持ち、社会が抱える諸課題の解決を図ることが期待されています。

世田谷区では「子どもから高齢者までのスポーツ・保健・介護予防の連携について」という答申をスポーツ振興審議会がこのたび提出しました。一方、東京都は「スポーツ都市東京」を目指しています。文部科学省は昨年、「スポーツ立国戦略～スポーツコミュニティ・ニッポン～」を公表しています。

皆さんのお近くにいる区民の一人として体育指導委員は区から委嘱を受け、区民スポーツ振興を目標に、体力増強・健康増進・余暇時間の活用等、区民の豊かな生活の実現に向け取り組んでいます。体育指導委員の役割はスポーツの実技指導から、地域のスポーツのコーディネーター役へと変化しています。私たちも地域の持つパワーや魅力を把握し、ネットワークを築き、広い視野で、人と人、組織と組織をつなぐコーディネート力、マネジメント力を身につけたいと思っています。

その一環としてコミュニティ単位で地域スポーツ・文化クラブの立ち上げのお手伝いをしたり、小中学校を拠点としたスポーツひろばの展開をはじめ生涯スポーツセミナー、ニュースポーツのつどいなどの催しを提供しています。現在 47 名が皆さんの地域で、様々なスポーツ・レクリエーション普及活動をおこなっています。

お住まいの近くに、だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも楽しむことができるスポーツやふれあいの場がいろいろあります。時には、お近くでおこなわれている場にも参加してみませんか。自分のために、そして新たな人との出会いのために、出かけてみませんか。

私たち体育指導委員は、皆さんの健康・体力づくりのお手伝いをしています。

発行：世田谷区体育指導委員協議会
事務局：(公財)世田谷区スポーツ振興財団

2011.5.1

〒157-0074 世田谷区大蔵 4-6-1 Tel. 3417-2811 FAX 3417-2813

第10回 せたがや生涯スポーツセミナー

平成22年12月12日(日) 世田谷区役所第3庁舎 ブライトホールにおいて【第10回 せたがや生涯スポーツセミナー】が開かれました。今年は10回目を迎えた節目として、こどもの未知の力を育むにはどうしたらよいのだろうという大きなテーマを掲げ、親と子どもとともに学んでみようという趣旨で、基調講演と実技体験の二部構成でテーマを追ってみました。

基調講演の講師は永井洋一氏、サッカーを中心にスポーツの分野で幅広く取材、執筆活動を展開しながら解説者の顔も持ち、サッカーコーチ活動も長年続け、NPO 港北FCの理事長として指導現場にあたるというまさにマルチな活躍をされている方です。

お話の内容もとても軽快で、スポーツを通じて大人が子どもたちに目標・目的を持たせ、失敗と成功の繰り返しの過程で自らが考えて行く事の大切さ、そして、その中で子どもたちが自己肯定感や達成感を育み、体力、学力、人格を形成していくプロセスを、他の子どもと比較する事なく、成長した点を大人が見守ることの大切さを述べられました。講演終了後、時間が足りなくなるほど多くの質問が参加者からあり、充実した講演内容でありました。

第10回 せたがや生涯スポーツセミナー
「親が伸ばす、子どもの●●力！」



実技体験では、世田谷区体育指導委員の若きホープでまた東京世田谷FCで活躍している玉手淳一が、日ごろ子どもたちに指導している延長線で、「親子でできるコーディネーショントレーニング」について、解説を交えながらいくつかのパターンを紹介しました。参加者は実際に体験しながら「コーディネーション能力」とはどのようなものか、どうやって鍛えることができるかの理解を深めていきました。

当日は親子連れの参加者も多く、頭と体の両方に刺激を受けたセミナーの内容で爽快な時間を過ごしました。



第2回 ニュースポーツのつどい

平成23年1月29日 総合運動場体育館において【第2回ニュースポーツのつどい】が開かれました。また、同時に【第4回キンボールのつどい】も開催され、会場を訪れた親子連れはニュースポーツを体験したり、キンボールを応援したり楽しい一日を過ごしました。



参加者全員で準備体操です



ユニカール

ユニバーサルカーリングの略で“みんなのカーリング”という意味です。合成樹脂製のストーンを特殊なカーペットの上を滑らせます。



ドッチビー



布素材で作られたフライングディスクを投げるスポーツです。工夫しだいでいろいろなゲームができます。

スポーツチャンバラ

日本のチャンバラに柔らかな小太刀と防具による安全性を導入したスポーツです。



ショートテニス



スポンジボールと軽いラケットを使い、バドミントンコートを利用します。大人はもちろん、小さな子どもでも容易にテニスの楽しさが味わえます。

キンボールのつどい



直径122cm重さ約1kgの巨大なボールを使うスポーツです。初めての人にはリードアップでボールの感覚を覚えます。

キンボールの“キン”はキネシス(運動感覚)の略です。

ゲームは1チーム4人でサーブ・レシーブを繰り返し、3チームで得点を競います。

スポーツコーディネーション

スポーツで大切なバランス感覚やリズム感、しなやかな身体の動きを向上させます。ボールを使い親子で楽しく行いました。



親子体操

親子遊びでコミュニケーションをとりながら運動能力を目覚めさせます。



世田谷地域

世田谷地域会では年間を通して、こまざわスポーツ・文化クラブ（駒沢小学校）をはじめ、新年子どもまつり（区役所）、太子堂マラソン大会



（太子堂小学校）、太子堂中コミュニティスイミング（太子堂中学校）、宮坂区民センター、老人会館等の施設における地域のスポーツイベント協力を行なっています。また、だれにでも簡単に取り組めるニュースポーツの普及としてキンボール体験会を池尻小学校、さくらっ子スポーツ教室（桜小学校）、駒繫小学校、笹原小学校、多聞小学校、中丸小学校（PTA）などで行なってきました。今後もよりたくさんの地域、学校で普及を進めていく予定です。

（世田谷地域 池田）

北沢地域

羽根木公園で「せたがや梅まつり」が開かれる早春の一日に、平成22年から『梅中・梅の香ふれあいフェスタ』を梅丘中学校で開催しています。この催しは、地域で文化やスポーツなどの活動をしている様々な団体の皆さんが、活動発表や体験会などを通じて「ふれあいの輪」を広め深めることを目的としています。今年も、16団体、約650名の皆さんがダンス、健康体操、太極拳、アコーディオン演奏、輪投げ、合気道などの活動を発表したり、鑑賞したり、体験したりすることで、とても賑やかで楽しい一日になりました。北沢地域会は、「健康ウェンズデー」（毎月第一、第三水曜開催@梅丘中学校）や「しろやま倶楽部」（@城山小学校、ほっとスクール城山・山崎中学校）などの運営協力・支援を通じて、地域の皆さんのスポーツ・レクリエーション活動や健康づくりの応援をしています。地域のスポーツ・レクリエーション活動に参加したい、地域の人たちと交流を深めたい、そういった希望をお持ちの方は、北沢地域体育指導委員にご連絡ください。



「健康ウェンズデー」 <http://kenkouwednesday.blog61.fc2.com/>

（北沢地域 阿曾）

玉川地域



現在、玉川総合支所の管内を12名の体育指導委員で担当しており、管内にある二つの総合型地域スポーツクラブ — 東深沢スポーツ・文化クラブ、ようがコミュニティークラブ — の年間事業に協力しているほか、以下の地域スポーツ広場の活動にも積極的に関わっており、特に平成22年度は二子玉

川小学校に新たな地域スポーツ広場（二子ニコひろば）が生まれました。また、尾山台地域に玉川総合支所管内で三番目となる総合型地域スポーツクラブを誕生させるべく、今年度から関係する各団体とともに活動をおこなっています。



地域スポーツ広場

- なかたま∞スクエア
（玉川小、中町小、玉川中）
- 尾山台スポーツ☆文化ひろば（尾山台小）
- せたっち広場（瀬田小）
- やはすぽ広場（八幡小）
- 二子ニコひろば（二子玉川小）

総合型地域スポーツクラブ

- 東深沢スポーツ・文化クラブ
- ようがコミュニティークラブ

（玉川地域 金矢）

砧地域



砧地域初の総合型地域スポーツクラブ立ち上げのため、松浦体指を中心に設立準備が始まりました。明正小学校で展開している『めいせい広場』をベースとして、成城自治会、PTA、OBの方々などの皆さんと力を合わせて、打ち合わせを重ねています。平成23年秋の設立を目標として砧地域会も一丸となって頑張っていきたいと思えます。ぜひとも応援よろしくお願ひします。

（砧地域 永井）

烏山地域

烏山地域会では年間を通して、烏山スポーツクラブユニオンの活動支援をしています。また、からすやま新年子どもまつり（烏山区民センター）では1部屋を使っのインディアカビンゴ遊びやキラキラバッジ作りといったコーナーを受け持っています。他にも烏山北小学校・給田小学校・塚戸小学校など地域の小学校やPTA、遊び場開放委員会などの依頼に応じてキンボールなどの指導を行っています。これからも、地域のスポーツコーディネーターとして気軽からだを動かす場作りに努力していきます！

（烏山地域 土屋）



太子堂マラソンのスタッフ応援に参加して

世田谷区体育指導委員協議会 副会長 天野 芳雄

平成 23 年 2 月 13 日(日)太子堂小学校において「太子堂マラソン」が開催され、運営スタッフとして参加しました。これは、以前から同じ世田谷地域会の石川体指が「一度、太子堂マラソンを見にきたら？」と言われていたのを、こちらのほうも「見物がてら・・・もし、手伝えることがあったら手伝おう・・・」こんな感じでの参加でした。当日は、大会実行委員長の石川体指を除き、世田谷地域会から私を含めて5名が参加しました。まず、この太子堂マラソンの印象として、参加者が多いことが印象に残りました。マラソンに参加する小学生だけでも 500 人は優にいたと思います。それと応援の父母、大会実行委員、ボランティアの中学生を含めると、全体では 1000 人を簡単に超えているという人数の多さにまず驚かされました。そこで、私なりに「なんでこんなに参加者が多いのだろう？」と考えました。そこで思ったことは、まず、第 26 回という回数にあるように、歴史の積み重ねがあることだと思いました。長く続けることは大変なことです。その事により参加者も段々と増えたのだと推察しました。次に、分かり易さだと思いました。その分かりやすさとは、太子堂小学校周辺の 1.8 キロメートルを学年ごとに、男女別に走り、その順位を競う・・・という分かり易さ＝参加のし易さでもあると思います。次に、地域が主催していることだと思いました。小学校主催では広がりはありませんが、地域だとその取組みが評価されると、段々と広範囲に伝播していきます。地域は広がりの可能性を内包しているものだと思います。最後に、実行委員の取組みの丁寧さです。500 名以上もいる小学生一人一人に賞状のような形をした記録証がもらえるのです。これは、順位はともかく貰って嬉しいし、来年への励みになります。このような素晴らしい取組みになるには、石川体指を初め、数々の苦勞の蓄積があったと思いますが、人を集める催し物には人を集めるだけの理由があると私は感じました。

ぜひ、イベントなどに利用してはいかがですか？！

ニュースポーツを体験してみたい、スポーツ・レクリエーションを取り入れたイベントを実施したい。そんな時にはお近くの体育指導委員にご相談下さい。

世田谷区スポーツ振興財団内事務局 (3417)2811 FAX (3417)2813 にご連絡いただければ、地域担当の体育指導委員がご相談に応じ、用具貸し出しや使用方法の指導などお手伝いいたします。キンボール、ショートテニス、スポーツチャンバラ、ソフトバレーボール、ティーボール、ドッチビーなどの用具を借りることができます。

ホームページでもそれぞれの地域のスポーツ・レクリエーション情報をアップしています。「世田谷区体育指導委員協議会」<http://www.se-taishi.org/> でご覧いただけます。